

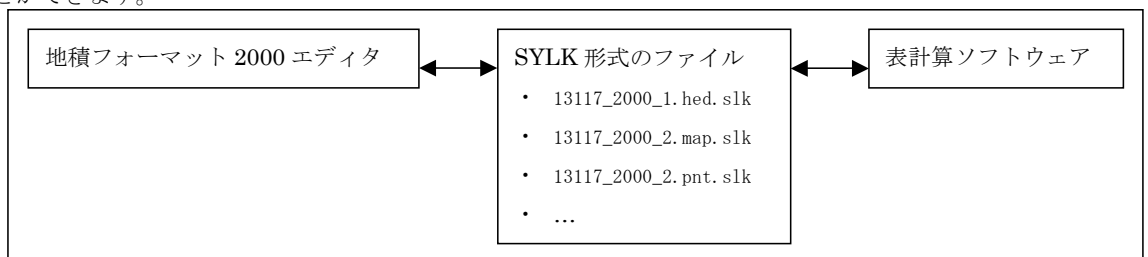
地籍フォーマット 2000 エディタ バージョン 1.11 更新情報

2004/05/30
ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.jp/>
info@geocoach.jp

地籍フォーマット 2000 ファイルのデータを SYLK 形式で入出力できるようになりました。
以下は、操作説明書からの抜粋です。

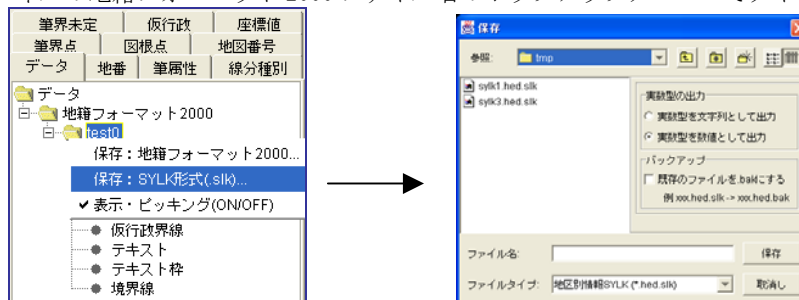
【SYLK形式ファイルの入出力】

地籍フォーマット 2000 の 10 個のファイルについて、SYLK 形式のファイルの出力および入力することができます。地籍フォーマット 2000 は各データがカンマで区切られている CSV 形式のファイルです。表計算ソフトウェアで開く際に、明示的に文字型の項目を文字列として指定しないと、地番などが日付に変わってしまうことがあります。例えば、「83-1」が「1983/1/1」なり「Jan-83」と表示されてしまいます。SYLK 形式の場合、値が文字列であることを指定できますので、このような問題を避けることができます。また、実数の小数点以下の桁数が変わることがあります。例えば、「123.40」が「123.4」になったり、「123.00」が「123」になったりします。実数も文字列として渡すと、有効数字が変わる問題を避けることができます。



【SYLK 形式ファイルの出力】

[データ]パネルの地籍フォーマット 2000 ファイル名のポップアップメニューでダイアログを開きます。



【実数型の出力】 筆界点、図根点の座標や地籍など実数型の項目を文字列として出力することができます。文字列として出力した場合、有効桁数が変わる心配がありません。

【既存のファイルを .bak にする】 ファイル保存で上書きする場合、元のファイルの名前を変えてバックアップとします。例えば、ファイル「13117_2000_1.hed.slk」を「13117_2000_1.hed.bak」とファイル名を変更した後、「13117_2000_1.hed.slk」を作成します。

【SYLK 形式ファイルの入力】

[ファイル]メニューの[参照]-[地籍フォーマット 2000(SYLK)...]を選択し、ファイル選択ダイアログで地区別情報ファイル(拡張子.hed.slk)を選択してください。同名前で、拡張子が異なる筆界点情報ファイル(.pnt.slk)や図根点情報ファイル(.tcp.slk)などを一括して開きます。

